

最優秀賞

海田町『広報かいた』（令和6年12号）



- 発行部数（年間発行回数）：14,000部（12回）
- 担当課：かいたブランド課
- 連絡先：082-823-9212

【担当者より（主な記事の掲載意図）】

メイン特集である「今をときめくまちのあの人に会いに行く」では、町内サッカークラブのコーチを取材。コーチとしての活動を初め、人となりや町内での学校、地域との関わりを持つ活動内容を紹介した。人のつながりをもたらすサッカーやスポーツの良さ、楽しさを発信し、町内外を問わず、老若男女の方にスポーツや何か物事を始めるきっかけになればと思い掲載。町内の活動をする中で感じた町への思いを引き出し、町民の皆さんへ町の魅力を感じてもらえるような特集とした。

＝講 評＝

- 「今をときめくまちのあの人」はとても良い企画で、まちにこういう魅力的な人があるんだと気づけると、シビックプライドにもつながるのではないかと。「海田のお気に入り」があるのも良い。
- 広報紙らしい文章と明るい雰囲気を使い分けができていていると思う。
- 全体的にとっても読みやすく、企画もわかりやすく。よい広報紙だと思う。若い町長さんを盛り上げながら、フレッシュな紙面でこれからを感じる。
- カラーで読みやすく、写真やイラストの使い方などメリハリがあって若い人にも比較的手に取りやすい雰囲気作りをしていると思う。

優秀賞

神石高原町『広報神石高原』（令和6年11月号）



■発行部数（年間発行回数）：4,200部（12回）

■担当課：政策企画課

■連絡先：0847-89-3351

【担当者より（主な記事の掲載意図）】

町合併20周年を迎え、町民の皆さまにこの20年を懐かしく振り返ってもらえるような写真や年表を掲載しました。また、これからの町の姿も見えるように町民の方のコメントも掲載しました。

＝講 評＝

○巻頭特集は地域にとっては大きな出来事なので、年表などうまく使い写真と合わせてみるのが楽しかった。

○分かりやすく伝えようという文章にまとめたと思う。

○「ポジティブに行こう！」のテキストは、本音がのぞいて良い。

○全体的に写真やイラストを多用し明るい紙面に仕上げているが、どこかバラバラ感もあるので、一本スジが通ったデザインにしたらまとまりが増すと思う。